

平成 23 年 第 3 回 定例会

質問年月日	質問者	件 名	要 旨
平成 23 年 9 月 16 日	荻原 文明	<ul style="list-style-type: none"> ・天理市立病院改革について 	<ul style="list-style-type: none"> ①医療圏の中での市立病院の位置付け。 ②「中核病院」「かかりつけ病院」として、地域医療の中での市立病院の位置付け。 ③総合病院の維持、救急体制の充実、病床利用率の向上、病院改革委員会への市民参加、病院モニター制度の導入、利用者の会（天理の地域医療を守る会）の設立活動支援。 ④医師、看護師、職員と市民、市長、議会等との意見交換会の開催。 ⑤市広報への市立病院の活動を掲載。 ⑥レジナビフェア（研修病院合同説明会）への参加。 ⑦医学生、看護学生への奨学金制度の創設。医学生との交流会。 ⑧在宅医療、相談・予防医療の充実、健康診断の受診率向上への対応。 ⑨市長の下に地域・医療・福祉・保険連携対策室を設置し総合的に対応する。 ⑩医療費未収金対策 ⑪その他
平成 23 年 9 月 16 日	菅野 豊盛	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の避難所等公共施設の耐震化（天井等内装）について、また、災害発生時に指定避難所が使用出来ない時の対策について ・山の辺号の利用状況と日数について 	<ul style="list-style-type: none"> ・地震発生時の避難所等公共施設の耐震化（天井等内装）に伴う避難通路と災害対策本部設置場所の安全性の確保について、また、災害発生時に指定避難所が使用できない時の第二避難所の案内とその誘導方法について対策されているか。 ・山の辺号の利用日数の減少の理由と交通網の整備に伴い利用地域の見直しを計られるべきではないのか。

平成 23 年 第 3 回 定例会

質問年月日	質問者	件 名	要 旨
平成 23 年 9 月 16 日	市本 貴志	1. 市長の所感、福島の「原発事故」と原発行政について 2. 防災計画 3. 地方自治行政に対して	1. 行政の長・トップとして、1か所の原発事故が社会に大きな混乱をひき起こし、いまなお収束できない今回の事故、そして原子力行政に対し、どのように思っておられるか？ 市長の所感 2. 本市の防災（ハザードマップ見直し・啓発・訓練） 3-1. 市民相談全般について 3-2. 行政と議会、二元代表制の認識 3-3. 地方自治法の一部を改正する法律について（第2条第4項の撤廃）
平成 23 年 9 月 16 日	寺井 正則	1. 子どもの読書教育について 2. 介護保険について 3. 子宮頸がん予防ワクチンの公費助成について	①イ、平成 19 年から「新学校図書館図書整備 5 年計画」が施行されており、本年で学校図書館図書標準を達成することになっているが、本市の現状は。 ロ、本市における図書整備計画 ハ、司書教諭の配置状況 ニ、現状と今後の課題等 ホ、島根県が行っている「子ども読書活動推進事業」を参考にしてはどうか。 ②イ、本年 6 月に成立した「介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律」の内容は。 ロ、第 5 期介護保険事業計画における保険料設定の見通しは。 ③国のワクチン接種緊急促進事業実施要綱の第 2-1 において接種対象者が 13 歳から 16 歳（4 学年）の女性になっているが、本市において 13 歳から 15 歳（中学生）に限定しているのは何故か。

平成 23 年 第 3 回 定例会

質問年月日	質問者	件 名	要 旨
平成 23 年 9 月 20 日	三橋 保長	①東日本大震災や台風 12 号による奈良県災害に今後の支援は？ ②天理市住民の人口減少の現状について ③議会が政策討論会を実施する 3 つのテーマについて市長の見解は？	①天理市の独自の支援を具体的に説明してほしい ②-1 人口の減り続けていく過疎地域の今後の対策はあるのか ②-2 空家の実態把握と除却も含め有効活用による過疎化防止対策について ③『行政改革実施プログラム 2011』から 1. 福祉センターの見直しについて 2. 山田キャンプ場の見直しについて 3. 地区公民館の見直しについて
平成 23 年 9 月 20 日	大橋 基之	市長マニフェスト	道の駅の進捗状況について